10年後をリードする　未来企業　132

地域のイベントに参画しながら地域一番店を目指す!!

東北地方最大の都市、仙台市で「地域有数の保険代理店になる」という目標を掲げる㈱清野エージェンシー。創業以来、思いやりと信頼関係を大切にしてきたという清野正彦社長に、㈱ブレインマークスの武内直亮氏が起業の経緯や現在の事業概要、今後の展望などについて聞いてみた。

清野正彦
せいの・まさひこ

有限会社清野エージェンシー
代表取締役

1967年生まれ。仙台育英学園高等学校卒業後、仙台市内のガソリンスタンドに就職したが、21歳のときに勤務先の会社が倒産。その後、損害保険会社の代理店研修生として入社。3年間の代理店研修期間を経て、24歳で個人事業主として保険代理店を設立。1999年に法人化。現在6名のスタッフとともに、「お客様の豊かで幸せな生活を守り地域に貢献する」という理念を掲げ活動している。

武内直亮・ブレインマークスビジネスコンサルタント　保険業界にかかわるようになった経緯をお聞かせください。

清野正彦・清野エージェンシー代表取締役　高校を卒業してすぐに就職し、地元のガソリンスタンドで働いていたのですが、運営会社が間もなく倒産し、20代半ばにして無職になってしまいました。「何とか食いつながなければ」と新しい職を探しているなか、偶然、保険代理店の研修制度のことを知り、参加してみたのです。これが私にとって大きな転機になりました。担当したお客さまが事故にあってしまったのですが、「手厚い補償のおかげで助かった」と感謝していただき、思わず胸が熱くなったのです。と同時に「この仕事は人の役に立つ」と確信し、本格的にはじめるようになりました。保険業界は人の出入りが激しいので、当初は周りから「おまえもすぐ辞めるだろう」と揶揄されましたが、今までつづけてこられたのはこの体験があったからだと思います。そして、3年間の研修を終えた20代半ばに独立することを決意しました。

武内　独立後、事業は順調にすすんでいきましたか。

清野　しばらくは厳しい時期がつづきました。研修を受けたとはいえ、業務を効率的に運営するノウハウは皆無でしたから当然です。しかし「あきらめよう」と思ったことは一切なく、「独立したからには絶対やりきる」とがむしゃらに仕事に打ち込みました。事業が軌道に乗りはじめたのは、スタッフを雇い、地元の経営者の皆さんたちと交流する機会が増えてきてからです。

武内　どのような交流があったのでしょうか。

清野　地域振興のイベントなどに積極的に協力することで、地元の皆さんからの信頼を少しずつ得られるようになっていきました。そうした縁の積み重ねで顧客基盤もどんどん広がっていきました。それを実感し「思いやりを大切にすること」「お客さまとの信頼関係を築くこと」を何よりも重視するようになりました。

日々、顧客に寄り添いながら業務に取り組んでいる

武内　現在はこれまでと違った保険代理店を目指しているそうですね。

清野エージェンシーの皆さん

清野　最近は顧客基盤がシッカリしてきたことで、取り扱う商品も増えて、業務が複雑になってきました。そこで、業務ごとに担当者をきめ、組織強化をはかっています。そのポイントは「権限移譲」です。つまり、経営者がすべての業務を仕切るのではなく、それぞれのチームの役割を明確にしたうえで権限移譲をすすめ、チームごとに失敗やリスクなどの事例を共有し、議論を交わしてもらうようにしていくのです。もちろん、各チームの情報は私がシッカリと把握するようにしています。そのうえで、それぞれのチームが能動的に仕事に取り組めるようにしています。そのおかげか、スタッフ一人ひとりの能力が向上してきたように思います。

武内　最終的にどのような組織を目指していますか。

清野　一連の取り組みを通じて実現したいのは、すべての社員と「お客さまの幸せな生活を守る」という思いを共有することです。そのうえで、地域にとってかけがえのない会社になることができれば最高です。

武内　今までを振り返ってみて、何か思うところはありますか。

清野　今でも「自分は夢を見ているのではないだろうか」と思うときがあります。というのも、この仕事をはじめた当初は経営者になるなんて思いもよりませんでしたし、起業してからここまで頑張れる自信もありませんでしたから。しかし、成長するために目標を定め、それを一つひとつ達成していくことで、「やるときめたらやれるのだ」と確信を持てるようになりました。そうやって得た自信は何ものにも代えがたい、そう思っています。だからこそ、皆でこうした気持ちを分かち合い、困難と感じたときこそ踏ん張ることができる会社に育てていきたいと思います。また、変化が激しい時代にあっても、チャレンジ精神を持ち、つねに柔軟に対応できる会社にしていきたいと思います。

武内直亮
たけうち・なおあき

株式会社ブレインマークス ビジネスコンサルタント

大手CVS（コンビニエンスストア）で、財務改善、経営改善、経営支援を担当。企業の「本質的な課題解決」に尽力し、多くの経験と実績を積んできた。人材育成を中心とした人事評価制度の構築や理念を中心とした自主性を生み出す組織づくりを得意としている。幅広い経験と実績に裏打ちされたコンサルティングスタイルはクライアントから高い信頼を獲得している。

10年後のためのアドバイス!

清野エージェンシーは1999年に設立して以来、長年にわたって大手保険会社の商品を幅広く取り扱う代理店として地域で存在感を高めてきました。インタビューを通じて感じたのは、清野社長の保険業に対する誇りと何事にも誠実に向き合い成長しようとする意志の強さでした。同社は経営理念に顧客満足だけでなく、地域社会への貢献を掲げ、仙台の商工会議所や青年会議所、ロータリークラブなどの活動にも熱心に取り組んでいます。さらに、同社のウェブサイトには経営理念とともに2030年までに実現させたいビジョンが公表されており、この先、培っていく企業文化や教育体制などが明確に示されています。㈱ブレインマークスとしては、清野社長とともにこのビジョンの達成に向けて努力するのはもちろん、その過程で見えてくる課題にも前向きに取り組んでいきたいと考えています。